

唄孝一先生（東京都立大学名誉教授）のご逝去について

唄孝一先生（東京都立大学名誉教授）が、2011年1月11日、享年86にて永眠されました。

唄先生は1951年4月1日から1987年3月31日まで、本学専任教員として民法、医事法等を講義され、東京都立大学評議員、東京都立大学法学部長を務められた後、1987年3月に東京都立大学を定年退職され、同六月には東京都立大学名誉教授とされました。

また、学外においても日本医事法学会代表理事、同事務局長、世界医事法学会副会長、法制審議会民法部会委員を歴任され、1992年に学士院賞受賞、1994年に勲二等瑞宝章受章、2003年には文化功労者として顕彰されました。

その他に、わが国の医事法の第一人者として家族法、医事法に関する数多くのご業績を残されておられます。

本学法学部としても、唄先生の生前の御功績を偲び、ここに謹んで哀悼の意を表する次第です。

2011年1月24日

東京都立大学法学部学部長
山田高敬